

各委員会・分科会での主な審査概要

総務企画委員会・分科会

質 監査委員の定数を3人にするとともに、識見を有する者のうちから選任する監査委員を非常勤にしようとしているが、どのような人選を想定しているのか。

答 民間有識者については、専門知識のある有資格者を含め、人選を行うてまいりたい。

質 令和4年度の特別交付税が3年度よりも増額となった要因は。

答 3年度と比較し、323万1000円の増額となっている。主な要因は、災害復旧事業費、地域おこし協力隊及び個人番号カード多目的利用の増額によるものである。

質 一般財団法人自治総合センター助成金の内容は。

答 当該助成金は宝くじを財源とし、今回は檜山地区の馬喰町自治会で除雪作業が困難な高齢者世帯に対し、自治会の方々がボランティアで除雪するための除雪機購入費用を対象として、助成を受けるものである。

質 企画調査事務費に関し、アンケート調査はどのようなものを想定しているのか。

答 少子高齢化等の影響により、事

業承継が困難なケースが散見されている。今後どのような支援が行えるのか検討するため、主に高齢の事業者や農業者を対象に、事業承継に関する考え方についてアンケートを実施しようとするものである。

質 竹生自治会交付金の支払い根拠は。

答 竹生、向能代、落合等の旧村が東雲村になる際に取り決められた、財産統一条件に基づき支払われる交付金で、土地の譲渡などによる収益金の8割を現在の自治会に交付することとなっている。用途は自治会の公共事業に限られており、今回は、自治会で管理する竹生共同墓地周辺の支障木伐採処分費用について交付しようとするものである。

質 識見監査委員報酬の額はどのように決めたのか。

答 県内各市の状況を踏まえ、想定している登庁日数が近い自治体を参考に、代表監査委員を月額18万円、識見監査委員を月額15万円に設定しようとするものである。

(鍋谷 暁)

文教民生委員会・分科会

質 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に関し、可能な限り5月中旬に支給することと専決処分をされたが、既に給付したのか。

答 申請が不要な世帯には5月30日に給付を行った。今後は、家計急変等によって対象となった世帯に対し、随時申請に基づき給付することとしている。

質 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業費に関し、対象の世帯数は。

答 前年度の住民税課税状況や電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の実績を参考に、住民税非課税世帯8000世帯、住民税減免世帯30世帯を対象として見込んでいる。

質 給付方法及び給付時期は。

答 住民税非課税世帯については、確認書を直接送付して給付することとし、転入者がいる世帯、税額更正により非課税となった世帯及び住民税減免世帯については、申請により給付することとしており、7月下旬から開始したいと考えている。

質 敬老会費に関し、参加見込み数が増加した理由は。

答 能代市全体で1324人を予定していたが、市主催の敬老会から地区主催の敬老行事へ移行したことや新型コロナウイルス感染症がら類へ引き下げられた影響のほか、もとも

と地区の主催で開催していたところが、町内会等のさらに小規模な単位での開催に変更したことにより、全体として837人分の増加となった。

質 法人保育所等特別保育事業費補助金の補正内容は。

答 病児保育の実施設を3施設と見込んでいたが、看護師の確保が可能となったことから、6施設に増えたことに加え、障害児保育において、加配が必要な児童が増加したことなどにより増額しようとするものである。

質 学校保健特別対策事業費に関し、具体的にどのようなものを購入するのか。

答 各学校からの要望により、効果的な換気を実施するため、空気清浄機、サーキュレーター等の購入のほか、網戸を設置しようとするものである。

質 学校給食費物価高騰対策支援事業費を追加しようとする理由は。

答 食料費の上昇分を昨年度と同率の6%と見込んでいたが、食料品価格の値上げが続いており、今後当面下がることが見込まれないことから、保護者への追加負担は求めず、7月分からさらに5%増の11%とし、1食当たり小学生は14円、中学生は16円を追加して支援しようとするものである。

(藤田拓翔)